

第28期 座間市青少年指導員活動のあゆみ

■ 令和4・5年度 ■



座間市青少年指導員協議会

目 次

青 少 年 と 共 に (座間市青少年指導員協議会会長) ..	1
座間市青少年指導員活動のあゆみによせて (座間市長)	2
座 間 市 の 概 要	3
児 童 生 徒 数 の 推 移	4
青 少 年 指 導 員 の あ ゆ み	5
青 少 年 指 導 員 の 役 割	6
令 和 4 年 度 事 業 報 告	7
令 和 5 年 度 事 業 報 告	13

各地区協議会活動報告

座 間 中 学 校 区	20
西 中 学 校 区	23
東 中 学 校 区	28
栗 原 中 学 校 区	31
相 模 中 学 校 区	34
南 中 学 校 区	37

全体活動報告

ふるさとまつり	41
座間市成人式	41
青少年芸術祭	42
専門部活動	44
交流事業	47

参 考 資 料

令和4・5年度座間市青少年指導員名簿	49
神奈川県青少年指導員委嘱要領	50
座間市青少年指導員に関する要綱	51
座間市青少年指導員協議会規約	52
座間市青少年指導員協議会組織図	54
県・県央地域青少年指導員連絡協議会体系図	55
教育・文化・スポーツ施設一覧	56
あ と が き	58

青少年と共に



座間市青少年指導員協議会
会長 萩原 正恵

第28期青少年指導活動も終わろうとしています。

任期の終わりにいつも感じることは全指導員のリーダーになれたのだろうかと自分自身に問いかけます。新型コロナウイルス感染症も5類感染症となり、今年度の活動は対策を取りながらも無事に行うことが出来ました。各会議も皆さんにお会いできるようになり、懐かしい顔に笑みがこぼれました。

成人式も実行委員会形式となってから2回目になります。今年は1部制で開催することができました。参加者が多いと賑やかさや華やかさ増し、素晴らしい式典になりました。

また、青少年芸術祭も各関係者の御協力のおかげで開催ができ、音楽部門では、素晴らしい演奏に聞きほれました。人形劇部門では参加した4団体それぞれの持ち味が出ていて多くの子ども達に喜んでいただけました。青少年美術展は、743点という今までにはない応募作品に驚かされ、審査にも困惑される先生の姿がありました。舞踊部門ではハーモニーホール大ホールでの素晴らしい舞に胸がときめきました。

研修会では、恒例の大和市との合同研修も4年ぶりに再会することができました。やはり同じ目標を持つ仲間達です。すぐに打ち解け、木工工作ワークショップで楽しくリモコンケースを作り上げ、皆様大切に持ち帰ってくださいました。

文化活動部研修会では、2年同じテーマで歌舞伎教室を行い、歌舞伎の深さを学び、実際に演じさせていただきました。（声出しだけですが、ちょっと笑いも出ました。）

令和5年度の野外活動部研修会では、ニュースポーツ体験でボッチャとモルックを行いました。体力的にも大変ですが頭の体操にもなりました。これはこれからの行事などにはぜひ取り入れたいですね。

青少年フェスティバルも全中学校区で開催することができ、各中学校区で独自のカラーがでており多くの子ども達に参加いただけました。また、カレー作りも復活した中学校区では、手作りの良さを感じました。

最後に2年間に渡り御支援と御指導を賜りました座間市及び教育委員会、交流させていただいた全ての方々に厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

「座間市青少年指導員活動のあゆみ」によせて



座間市長 佐藤 弥斗

第28期の青少年指導員皆様の2年間の御活動に対し、感謝とお礼を申し上げます。

また、皆様方には青少年に対し、多様な体験活動、地域間交流、各青少年団体の育成及び支援、地域環境健全化、青少年健全育成団体間の交流促進など、多岐に渡り御活躍頂きましたことを心より厚くお礼申し上げます。

さて、近年では、急速な情報化社会の進展等により、スマートフォンやタブレットといった機器の進歩によって、生活は大変便利になりました。

しかし、その一方で、青少年を取り巻く環境は著しく変化しており、ネットトラブルなど、青少年が巻き込まれる事件が増えてきていることも事実です。人と人との関わりが減り、顔の見えない相手と文字でやり取りすることが、今や当たり前の時代となってしまいました。また、多すぎる情報は、時に人の判断を狂わせてしまうこともあるでしょう。インターネット等で得た情報だけではなく、自分の足で赴き、自分の眼で見て、耳で聞いて、何かを感じ、自ら判断する力を養うことが青少年にとって大切なことなのではないでしょうか。

こうした中で、座間市青少年指導員の皆様には、青少年が笑顔溢れるようにと積極的に子どもたちとふれあって頂きました。

今後においても、様々な活動を通じて、人と「ふれあうこと」の大切さを伝えて頂き、次代を担う子どもたちにとって、明るい社会を構築する一助となって頂けたら幸いに存じます。

萩原会長をはじめ会員の皆様に、心より感謝の意を表し、厚くお礼申し上げるとともに、座間市青少年指導員協議会の更なる御活躍・御発展を祈念申し上げます。

座間市の概要

1. 沿革

本市は、1万数千年前から人々が居住していたと言われています。

奈良時代には、旧東海道の駅名として「相模国夷参駅」の記録があり、平安時代に入ると、倭名類聚鈔の高座郡の郷名に「伊参」の記録があります。

その後、戦国時代には、小田原北条氏の所領となり、江戸時代には幕府直轄や大名領となりました。

明治時代に入ると、廃藩置県により神奈川県に属し、明治6年には、座間宿村、座間入谷村、栗原村、新田宿村、四ッ谷村の5村となり、明治22年町村制実施により5村と新戸村（現相模原市）飛地を合併して「座間村」を形成しました。その頃は、米麦、養蚕を中心とした農村社会でした。

大正15年神中線（現相模鉄道）、昭和2年小田急小田原線、昭和6年相模鉄道（現JR相模線）が開通しました。昭和12年、東京から陸軍士官学校が移転、同年12月町村制を施行し、座間村から座間町となりました。

昭和16年、旧高座郡北部5カ町村と合併して軍都相模原町を形成しました。昭和20年、終戦と同時に陸軍士官学校は閉鎖され、引き続き米軍が駐留し、現在のキャンプ座間となりました。昭和23年9月、相模原町から独立し、新生座間町として出発しました。

その後、昭和30年工場誘致による民間企業の進出や人口急増など、高度経済成長とともに都市化が進み、昭和44年には人口5万人に達し、昭和46年11月、県下17番目の市として市制を施行しました。以来、首都圏のベッドタウンとして成長し、現在では、工業や住宅などの複合都市となっています。

2. 地勢

本市は、東京から南西へ40Kmで、神奈川県中央部に位置しています。市域面積は、17.57Km²、中央部を南北に縦断する座間丘陵を境として東部には相模台地、西部には相模川に沿って沖積低地が広がり、起伏に富んだ地勢を構成しています。

(位置：東経 139° 24' 38" 北緯 35° 29' 07")



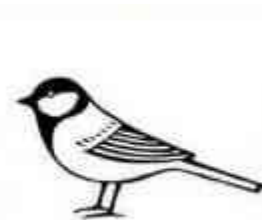
市のシンボルマーク



市の花
《ヒマワリ》



市の木
《モクセイ》



市の鳥
《シジュウカラ》

児童生徒数の推移

1. 児童生徒数の推移（各年5月1日現在）

(1) 小学校

年 度	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27
児 童 数	7,016	6,890	6,716	6,577	6,440	6,373	6,376	6,386
教 員 数	332	328	317	318	324	329	338	337
学 校 数	11	11	11	11	11	11	11	11
学 級 数	241	241	236	234	237	236	209	239

年 度	平成28	平成29	平成30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
児 童 数	6,330	6,365	6,323	6,285	6,229	6,152	6,119	5,961
教 員 数	341	345	341	357	355	345	352	352
学 校 数	11	11	11	11	11	11	11	11
学 級 数	238	242	239	242	237	232	236	233

(2) 中学校

年 度	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27
生 徒 数	3,437	3,384	3,413	3,365	3,409	3,335	3,207	3,099
教 員 数	191	192	196	198	203	202	196	192
学 校 数	6	6	6	6	6	6	6	6
学 級 数	103	104	108	105	106	104	100	97

年 度	平成28	平成29	平成30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
生 徒 数	3,057	3,072	3,040	3,033	3,024	3,071	3,050	3,101
教 員 数	193	193	187	190	193	196	200	200
学 校 数	6	6	6	6	6	6	6	6
学 級 数	99	98	98	98	99	99	102	107

青少年指導員のあゆみ

青少年指導員は、地域社会の青少年の健全育成活動を積極的に推進するため、地域の青少年指導者と連携をとりながら、地域ぐるみで青少年を育成する実践的活動をすすめていく、推進役という趣旨で制度化されました。こうした青少年指導者制度は、次のような過程をたどって発展しました。

昭和21年、戦後の社会秩序の混乱は、道徳を退廃させ、青少年の不良化が激増。文部省（現文部科学省）はこうした事態を対処する教育的処置として「児童愛護班活動要綱」を都道府県に通達。昭和22年、文部省の要綱設定の趣旨に基づき、神奈川県でも「児童愛護班」を結成し、公園、街頭などで児童対象の小集会を開き、レクリエーション指導など巡回活動を実施しました。

昭和24年、各地に「子ども会」結成の気運が高まってきました。昭和25年、「神奈川県校外生活指導者制度」が設置されるにおよび、「児童愛護班」は発展的に解消することになりました。

昭和31年、「校外生活指導者」の活躍により、単位子ども会数が1,000団体となり、さらに昭和35年には、約2,500団体にまで発展しました。

昭和36年、社会教育の重要性と独自性が強調され、単なる学校教育の補足的活動から脱皮して、地域におけるボランティア活動の推進力としての「地区少年指導員」が設置されました。活動内容も、地域の少年の健全育成活動、非行防止活動、環境浄化活動など広範囲に行われるようになりました。

昭和43年、従来 of 青少年指導に勤労青年の指導を加えることとし「地区少年指導員制度」を改正し、名称を現在の「青少年指導員」としました。この年に第1回神奈川県青少年指導員大会が開催されました。

なお、座間市でもこの年「座間町青少年指導員制度」が発足し、当時の町長から委嘱された青少年指導員は29人でした。

昭和45年、青少年指導員相互の緊密な連帯を図るため「神奈川県青少年指導員連絡協議会」が結成されました。

「青少年指導員制度」が発足して55年になります。社会の変動に伴い青少年指導員に対する社会的欲求や期待もおのずから変化している現在、青少年指導員に対して、青少年の健全育成のための地域づくりをはじめ、地域の青少年のニーズに対して機敏に反応し活動する事が求められています。

青少年指導員の役割

1. 青少年の体験活動の推進
 - 自然、文化、スポーツ、レクリエーションなど多様な体験活動の促進
 - ボランティア活動の促進
 - 就労体験（職場体験活動）
 - 子ども会議、討論会など、青少年の意見表明の機会づくり
 - 異年齢交流、地域間交流、国際交流の促進

2. 青少年団体の育成と支援
 - 成人指導者、育成者の発掘と養成
 - 青少年（中・高校生）リーダーの発掘と養成
 - 青少年団体の育成と組織づくりの支援
 - 青少年団体への協力・支援
 - 青少年関係団体間の連絡と協調

3. 青少年育成に望ましい地域づくり
 - 地域の共通課題について、話し合い、学び合う機会の拡充
 - 家庭・学校・地域の開かれた関係づくりと連携の強化
 - 地域の魅力の再発見と活用
 - あいさつ・声かけ運動などの促進
 - パトロール、キャンペーンなど地域環境健全化の推進
 - 関係機関、関係団体、関係業界への要請

4. 青少年に関する相談と対応
 - 会話、対話を通じた青少年との関係づくり
 - 青少年育成に関する相談と地域活動情報の提供
 - 青少年の悩み、心配事相談と専門機関の紹介
 - 関係機関、関係団体との連携強化

5. 青少年に関する調査と情報提供
 - 青少年の意識・行動実態の調査
 - 青少年を取り巻く社会環境の調査
 - 青少年が活用できる地域資源の調査
 - 青少年に関する情報の収集、整理、提供

令和4年度 事業報告

青少年指導員協議会では、令和4年度の活動方針を次の5項目としました。

- (1) 青少年の健全育成を図る
- (2) 青少年指導員の資質の向上を図る
- (3) 地区協議会活動を充実させる
- (4) 青少年の文化、レクリエーション活動の支援及び推進
- (5) 青少年指導員活動の地域へのPRに努める

以上5項目を柱として、青少年指導員協議会としての全体活動、地区協議会活動、専門部活動を実施しました。また、座間市からの受託事業「青少年フェスティバル」「青少年芸術祭」にも協力し、地域の健全育成に努めました。

1 会議、活動報告

全体会、役員会議

実施日	会議名	内容	場所等
4月 6日	三役会	第28期座間市青少年指導員委嘱式、役員選考について	青少年センター
4月27日	委嘱式 全体会	県・市委嘱状交付 役員選出、専門部の決定、新役員の紹介	青少年センター
5月11日	三役会	5月役員会について	青少年センター
5月11日	役員会	活動方針、活動計画案、事業計画案、予算案、三部会事業計画、地区活動報告、青少年芸術祭、青少年フェスティバル等について	青少年センター
6月 2日	三役会	県青少年指導員表彰候補者選考、6月役員会について	青少年センター
6月 2日	役員会	きずな編集部会について	青少年センター
7月 7日	三役会	7月役員会について	青少年センター
7月 7日	役員会	中学生の主張作文コンクール審査員選出、市青少年善行ほう賞候補者の推薦、座間市民ふるさとまつり活動内容について	青少年センター
9月 1日	三役会	9月役員会について	青少年センター

9月 1日	役員会	野外部活動研修会、市青少年芸術祭展示部門会議、座間市民ふるさとまつり活動内容について	青少年センター
10月 6日	三役会	青少年芸術祭展示部門会議、10月役員会について	青少年センター
10月 6日	役員会	青少年健全育成大会、安全・安心まちづくり旬間について	青少年センター
11月10日	三役会	11月役員会について	青少年センター
11月10日	役員会	市青少年健全育成大会、成人式について	青少年センター
1月12日	三役会	1月役員会について	青少年センター
1月12日	役員会	市青少年芸術祭展示部門「青少年芸術祭」作品整理・審査会について	青少年センター
3月 2日	三役会	全体会、3月役員会について	青少年センター
3月 2日	役員会	きずな第64号の発行、全体会の実施、地区活動費の決算書の提出及び残金の戻入について	青少年センター

2 専門部活動

(1) 文化部活動

実施日	内容	人数	場所等
5月27日	第1回文化活動部会	10	青少年センター
7月29日	入谷歌舞伎会との打ち合わせ	5	公民館
11月 6日	文化部研修会「入谷歌舞伎鑑賞」	16	ハーモニーホール座間

(2) 野外部活動

実施日	内容	人数	場所等
5月31日	第1回野外部活動部会	9	青少年センター
7月14日	第2回野外部活動部会	9	青少年センター
9月25日	野外部研修会「防災講座」	28	青少年センター

(3) きずな編集部活動

実施日	内容	人数	場所等
6月 3日	青少年指導員広報誌「きずな」第63号 第1回編集会議	11	青少年センター
8月19日	青少年指導員広報誌「きずな」第63号 第2回編集会議	9	青少年センター
9月 2日	青少年指導員広報誌「きずな」第63号 第3回編集会議	9	青少年センター
10月 1日	青少年指導員広報誌「きずな」第63号発刊		
1月26日	青少年指導員広報誌「きずな」第64号 第1回編集会議	10	青少年センター
2月17日	青少年指導員広報誌「きずな」第64号 第2回編集会議	9	青少年センター
3月 1日	青少年指導員広報誌「きずな」第64号発刊		

3-1 対外関係（神奈川県・県央地域青少年指導員連絡協議会）

実施日	内容	場所等
5月25日	県央地域青少年指導員連絡協議会 第1回定例会	厚木合同庁舎
5月28日	県央地域青少年指導員連絡協議会 活動研修会	海老名市文化会館
6月17日	第1回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会	神奈川県新庁舎
6月29日	県央地域青少年社会環境健全化推進連絡会議	厚木市文化会館
6月29日	県央地域青少年指導員連絡協議会 第2回定例会	厚木市文化会館
6月	神奈川県青少年指導員連絡協議会 委員総会	(書面会議)
7月20日	神奈川県青少年指導員連絡協議会 機関紙「つばさ」第1回編集委員会	かながわ県民センター (オンライン参加)
8月19日	第2回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会	かながわ県民センター (オンライン参加)

10月25日	神奈川県青少年指導員連絡協議会 機関紙「つばさ」第2回編集委員会	かながわ県民センター
11月27日	第53回神奈川県青少年指導員大会	県立保健福祉大学 (横須賀市)
1月18日	神奈川県青少年指導員連絡協議会 機関紙「つばさ」第3回編集委員会	かながわ県民センター
1月21日	令和4年度青少年の健全育成を進める県民大会	川崎市麻生市民館
2月14日	神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進協 議会 第1回幹事会	神奈川県庁 西庁舎
2月22日	第3回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会	かながわ県民センター
3月 9日	第3回県央地域青少年指導員連絡協議会	厚木合同庁舎

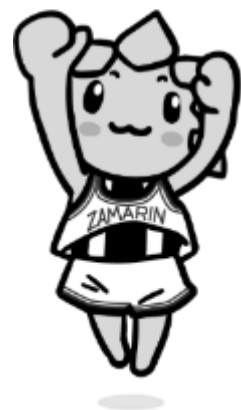
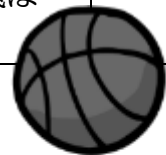
3-2 対外関係（座間市）

実施日	内容	場所等
7月 8日	座間市青少年問題協議会	青少年センター
7月15日	座間市安全安心まちづくり推進協議会総会	座間市役所
7月24日	令和5年座間市成人式実行委員会会議	青少年センター
9月	第46回座間市青少年健全育成大会起草委員会	(書面会議)
9月21日	第42回中学生の主張作文コンクール審査会 第1回審査会	青少年センター
10月 6日	第42回中学生の主張作文コンクール審査会 第2回審査会	青少年センター
10月13日	座間市青少年善行ほう賞審査会	青少年センター
11月13日	ふるさとまつり	座間中学校グラウンド
11月23日	第46回青少年健全育成大会	ハーモニーホール座間
1月 9日	令和5年座間市成人式	ハーモニーホール座間

4 市からの受託事業

(1) 第34回青少年フェスティバル

実施日	会議等名	内容	人数
6月	実行委員会 (書面)	第34回座間市青少年フェスティバル実行委員会結成会議	19
11月19日	座間中学校区	昔あそび、豚汁・フランクフルト、フリースロー、ストラックアウト、○×クイズ、バルーンアート、ふれあい体験コーナー(消防車展示・煙体験)	600
11月27日	東中学校区	ドッジビー大会、ゲームコーナー(ストラックアウト、ディスゲッター、スカットボール、輪投げ、スマートボール)、スリッパとぼし、生徒会○×クイズ、校長先生とじゃんけん大会、消防車両展示、煙体験、はしご車試乗体験	340
12月 3日	西中学校区	部活動体験会	300
12月 3日	南中学校区	フリースロー、スカットボール、スリッパ飛ばし、ストラックアウト、キックターゲット	194
12月10日	栗原中学校区	ボッチャ、紙飛行機飛ばし、ストラックアウト、スカットボール、モルック、座間音頭	150
12月17日	相模中学校区	ざまりんパネル記念撮影、スマートボール、電撃イライラ棒(コミュニティスクールにより、チアダンス、相模中合唱部、自転車競技、一輪車競技、輪投げ、スカットボール、ボール投げ、ストラックアウト、キックターゲット、くつ飛ばし)	520



(2) 第43回青少年芸術祭「青少年美術展」

実施日	会議等名	内容
7月 7日	市青少年芸術祭実行委員会結成会議	規約・予算・役員選出等について
10月 6日	展示部門会議	全体構想・作業日程等について
11月上旬	作品出品依頼	市内各校へ募集要項等の配布
1月10日～ 1月20日	作品回収	各学校から作品回収
1月30日	作品整理・審査	作品整理・奨励賞選出・受賞作品の写真撮影
2月24日	青少年美術展 前日準備	会場設営
2月25日 ～26日	青少年美術展	作品展示
2月26日	青少年美術展贈呈式	

出品作品総数 663点・出品者数 656人・受賞作品 56点・入場者総数 1,588人

市長賞



議長賞



教育長賞



審査員特別賞



令和5年度 事業報告

令和5年度の活動方針は、令和4年度の活動方針を基本とし、さらに活動の充実を図ることとしました。

1 会議、活動報告 全体会、役員会議

実施日	会議名	内容	場所等
4月19日	三役会	全体会について	青少年センター
4月19日	全体会	令和4年度事業報告・決算報告、令和5年度活動計画・事業計画・予算について	青少年センター
5月11日	三役会 役員会	三部会事業計画について、令和6年座間市成人式実行委員会委員の選出について	青少年センター
6月 1日	三役会 役員会	第1回野外部会、きずな編集部会について	青少年センター
7月 6日	三役会	令和5年度神奈川県青少年指導員表彰候補者について	青少年センター
7月 6日	役員会	文化部研修会、野外部研修会、座間市・大和市合同研修会、第43回中学生の主張作文コンクール審査会における審査員選出について、市青少年善行褒賞候補者の推薦について、第38回座間市民ふるさとまつりについて	青少年センター
9月 7日	三役会 役員会	市青少年芸術祭展示部門会議、座間市・大和市合同研修会、第38回座間市民ふるさとまつり、第54回神奈川県青少年指導員大会について	青少年センター
10月 5日	三役会 役員会	座間市・大和市合同研修会、第38回座間市民ふるさとまつり、第47回座間市青少年健全育成大会について	青少年センター
11月 2日	三役会 役員会	第38回座間市民ふるさとまつり、第47回座間市青少年健全育成大会、令和6年成人式の応援依頼について	青少年センター

1月11日	三役会 役員会	座間市青少年芸術祭展示部門「青少年芸術祭」作品整理・審査会、青少年美術展表彰式の日程変更について、かながわ青少年みらいフォーラム、まとめ誌、令和5年度神奈川県青少年育成活動推進者表彰について	青少年センター
3月 7日	三役会	全体会、退任式・委嘱式及び令和6年度全体会、4月三役会の日程について	青少年センター
3月 7日	役員会	きずな第64号の発行、全体会の実施、地区活動費の決算書の提出及び残金の戻入、退任式、委嘱式、令和6年度全体会の実施について、「まとめ誌」編集・発行について	青少年センター
3月26日	全体会	令和5年度事業報告、令和5年度座間市青少年指導員協議会決算報告について	青少年センター

2 専門部活動

(1) 文化部活動

実施日	内容	人数	場所等
5月23日	第1回文化活動部会	10	青少年センター
8月 5日	文化部研修会「入谷歌舞伎鑑賞」	19	青少年センター

(2) 野外部活動

実施日	内容	人数	場所等
6月 7日	第1回野外活動部会	8	青少年センター
8月29日	第2回野外活動部会	8	青少年センター
9月 3日	野外部研修会 「ニュースポーツ体験(ボッチャ、モルック)」	32	青少年センター



(3) きずな編集部活動

実施日	内容	人数	場所等
6月15日	青少年指導員広報誌「きずな」第65号 第1回編集会議	10	青少年センター
12月14日	青少年指導員広報誌「きずな」第65号 第2回編集会議	9	青少年センター
12月20日	青少年指導員広報誌「きずな」第65号発刊		

3 交流活動事業

実施日	内容	人数	場所等
6月28日	座間市・大和市二市合同研修会 事前打合せ	7	青少年センター
8月10日	座間市・大和市二市合同研修会 大和市との打合せ	5	青少年センター
10月14日	座間市・大和市青少年指導員(連絡)協議会 令和5年度二市合同研修会「木工ワークショップ」	41 座間市29 大和市12	青少年センター

4-1 対外関係（神奈川県・県央地域青少年指導員連絡協議会）

実施日	内容	場所等
4月25日	第1回神奈川県青少年指導員連絡協議会 委員総会	かながわ県民センター
5月11日	神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進 協議会	かながわ労働プラザ
5月21日	県央地域青少年指導員活動研修会 「アドベンチャー教育とは」	海老名市役所
6月14日	神奈川県青少年指導員連絡協議会 機関紙「つばさ」第1回編集委員会	かながわ県民センター
6月29日	県央地域青少年社会環境健全化推進連絡会議	厚木文化会館
6月29日	県央地域青少年指導員連絡協議会 第1回定例会	厚木市文化会館
8月 7日	神奈川県青少年指導員連絡協議会 機関紙「つばさ」第2回編集委員会	かながわ県民センター

8月18日	第2回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会	かながわ県民センター
8月19日	第1回県央地域青少年社会環境健全化推進街頭キャンペーン	本厚木駅北口広場
10月 3日	神奈川県青少年指導員連絡協議会機関紙「つばさ」第3回編集委員会	かながわ県民センター
11月12日	第54回神奈川県青少年指導員大会	松田町生涯学習センター
1月20日	かながわ青少年みらいフォーラム	海老名市文化会館
2月25日	神奈川県青少年育成功労者、育成活動推進者表彰式	県立青少年センター
1月17日	神奈川県青少年指導員連絡協議会機関紙「つばさ」第4回編集委員会	かながわ県民センター
3月 8日	第2回県央地域青少年指導員(育成員)連絡協議会	オンライン会議
3月13日	第2回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会	かながわ県民センター

4-2 対外関係（座間市）

実施日	内容	場所等
5月29日	座間市“社会を明るくする運動”推進委員会	座間市役所
6月16日	座間防犯協会常任理事会及び総会	座間警察署
7月 5日	市安全安心まちづくり推進協議会総会	座間市役所
7月 5日	座間市青少年問題協議会	青少年センター
7月 6日	市“社会を明るくする運動”街頭啓発キャンペーン	スーパービバーホーム座間店
7月23日	令和6年成人式実行委員会会議	青少年センター
9月 4日	第47回座間市青少年健全育成大会起草委員会	青少年センター
9月20日	第43回中学生の主張作文コンクール審査会第1回審査会	青少年センター
10月 4日	第43回中学生の主張作文コンクール審査会第2回審査会	青少年センター

10月12日	座間市青少年善行褒賞審査会	青少年センター
11月19日	第38回座間市民ふるさとまつり	座間中学校グラウンド
11月23日	第47回座間市青少年健全育成大会	ハーモニーホール座間
1月 8日	令和6年座間市成人式	ハーモニーホール座間

5 市からの受託事業

(1) 第35回青少年フェスティバル

実施日	会議等名	内容	人数
6月16日 (書面表決日)	実行委員会 (書面)	第35回座間市青少年フェスティバル実行委員会結成会議	19
11月25日	座間中学校区	豚汁・フランクフルト、昔あそび、ストラックアウト、バルーンアート、ディスクキャッチャー、○×クイズ、ガチャポン、消防車展示	700
12月 2日	西中学校区	部活動体験会&カレーを食べよう！！	500
12月 2日	南中学校区	フリースロー、スカットボール、ストラックアウト、キックターゲット、紙ひこうき飛ばし、校長先生とのジャンケン大会	267
12月 3日	東中学校区	ドッジボール大会、ストラックアウト、ディスクゲッター、スカットボール、輪投げ、スマートボール、スリッパとばし、○×クイズ、校長先生とじゃんけん大会、消防車両展示、煙体験、はしご車試乗体験	403
12月 9日	栗原中学校区	ポッチャ、ストラックアウト、スカットボール、モルック、スマートボール、防災炊き出し	92
12月16日	相模中学校区	ざまりん記念撮影、スマートボール、電撃イライラ棒(コミュニティスクールにより、チアダンス、相模中合唱部、自転車競技、一輪車競技、輪投げ、スカットボール、ボール投げ、ストラックアウト、サッカーダーツ、くつ飛ばし)	508
合計人数			2,470

(2) 第44回青少年芸術祭「青少年美術展」

実施日	会議等名	内容
7月 6日	市青少年芸術祭実行委員会 結成会議	規約・予算・役員選出等について
10月 5日	展示部門会議	全体構想・作業日程等について
11月上旬	作品出品依頼	市内各校へ募集要項等の配布
1月9日～ 1月19日	作品回収	各学校から作品回収
1月29日	作品整理・審査会	作品整理・賞選出・受賞作品の 写真撮影
3月 1日	青少年美術展 前日準備	会場設営
3月 2日 ～ 3日	青少年美術展	作品展示
3月 2日	青少年美術展表彰式	

出品作品総数 743点、出品者数 724人、受賞作品 62点、入場者総数 1,544人

市長賞



議長賞



教育長賞



審査員特別賞



各地区協議会活動報告

- 座間中学校区
- 西中学校区
- 東中学校区
- 栗原中学校区
- 相模中学校区
- 南中学校区

1. 地区の特色
2. 地区の活動目標
3. 地区の主要活動
4. その他の活動
5. 2年間を振り返っての感想

座間中学校区

1. 地区の特色

谷戸山公園、かみが沢公園、小池の台地や目久尻川など森や自然も色濃く残る一方、小田急線相武台前駅を中心に商店やオフィスなど賑わう街並みも、最近は次々とマンションが建設されるなど相武台、緑ヶ丘地区の多くが住宅地となっています。

相武台前南口の道路も拡張されるなどして周辺の施設も賑わいを見せています。

また小池地区や栗原地区には昔からの習慣や伝統行事も数多く残っています。

学校区内には市役所、文化会館、図書館、消防本部、市民体育館、そして総合病院も設置され、「市民ふるさとまつり」をはじめとして様々な行事のメイン会場になるなど市の行政・文化の中心となっています。

2. 地区の活動目標

- ① 理解と愛情による青少年の健全育成
- ② 地域の文化、レクリエーション活動の推進
- ③ 地域、学校、家庭との連携した活動
- ④ 学校、青少年団体、自治会など他団体の活動に参加支援



3. 地区の主要活動

令和4・5年度は新型コロナウイルス感染者の状況もひと段落したこともあり、令和4年度には3年ぶりとなる「青少年フェスティバル 青少健ふれあいまつり」を開催することができました。続けて同5年度も多くの来場者を迎え盛大に開催しました。

また市青少年指導員の各研修にも積極的に参加し多くの学びと、他地区の指導員の皆様と交流することができました。



4. その他の活動

座間中学校には、地域交流協議会という歴代PTA役員や地域の方々を中心とした団体があり、青少年指導員も会員として連携を図った活動を行っています。

本会は座間中学校及び生徒を全面的に支援しており、学校の環境整備や入学式、卒業式の参観、吹奏楽部による「ふれあいコンサート」の観覧、青少健まつりや駅伝大会など様々な学校行事に協力しています。

今後も座間中学校を中心に相武台東小学校、立野台小学校とさらに連携を深めながら生徒や児童、地域の方の一助となるような活動を行ってまいります。

5. 2年間を振り返っての感想

有 山：今期の2年間は、新型コロナウイルスが徐々に落ち着きはじめたことで、青少年フェスティバルが開催できたことが一番嬉しく思いました。各関係団体、PTAの皆様のお陰で生徒児童の安全も確保しつつ見事に復活しました。今後も子どもたちの笑顔が見られる活動を行っていきたいと思います。

中 村：青少年指導員としての2年間、皆様には大変お世話になりました。一昨年はコロナ禍に於いて活動も控えめにすることになりましたが、昨年は野外部の活動でポッチャなどの体験や、ふれあいまつりの再開と本来の活動ができ、皆様との交流を深められた事を感謝いたします。ありがとうございました。

栄：この2年は行事も復活し指導員の活動が活発になり「フェスティバル」や「美術展」、「成人式」の行事に携わる事もでき、改めて地域活動の大切さを実感することが出来ました。5期（10年）青少年指導員として活動させていただき、いろいろな体験をさせて頂きましたが、これを機に退任し、新たなステージで未来の子どもたちのための活動をさせて頂く決意を致しました。お世話になり本当にありがとうございました。

山 本：コロナも落ち着き、やっと色々な活動が出来る様になりました。

久々のふれあいまつりの開催で、子ども達の笑顔を見られて改めて指導員になって良かったと思える二年間でした。

三ツ橋：令和4年から始まった今期は、まだまだ感染が続いていた新型コロナ感染症とどう向き合って活動していくかということでした。私が担当するふれあいまつりについて開催できるか否かを判断するため幾度となく学校側と打合せを重ねました。結果開催することができましたが何せ3年ぶりということでも忘れてしまっていることも多く以前の資料を読み返しながら、またメンバーと一緒に思い出を掘り起こしながら企画を進めたことが深く印象に残っています。

世情は変わっていきませんが、ふれあいまつりの趣旨を忘れることなく、良いものは残し改善が必要なことは前例にこだわらず変えていきながら今後も生徒や地域の方々に楽しんで頂けるふれあいまつりを創造していきたいと思っています。

人見：色々な活動が出来るようになり子供から大人の皆様の笑顔にたくさん出会うことが出来、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

ありがとうございました。また来期も地域の皆さんと全指導員の皆さんとたくさん笑顔に出会える活動が出来たら嬉しいなと思います。

佐久間：今期で3期の活動を経験させていただきました。

コロナ禍での制限や計画変更など、私達も思うように活動ができない時期もありました。そのために忘れてしまったことや今後の活動について考えさせられる時期でもあったような気がします。今後も皆さんと一緒に有意義な活動が実現にできればと思っています。

小坂：指導員として仲間に入れていただき2年間はほとんど活動もなく実感もない時間を過ごしましたが、やっと日常生活が戻りつつある今年度は特にいろいろな場で子ども達や地域の方々との繋がりをもてた年となりました。

その度にパワーをもらい楽しんでいるのはむしろ私自身ではないかと感じた2年間でした。

東：コロナの影響も薄れ、青少年指導員として以前のように活動できたことを嬉しく思います。特にふれあいまつりでは、久しぶりということもあり記憶を頼りに地域の方々と力を合わせた経験は良い経験となりました。これからは地域とともに、教育活動を行っていけるよう勤めていけたらと思います。

西 中 学 校 区

1. 地区の特色

西中学校区は座間市の西側に位置し、まわりには水田と畑が多く、西には相模川と自然に恵まれた環境にあります。小中高、養護、どの学校からも大山、丹沢連峰が一望でき、夕日の沈む綺麗な風景が見られるのも、この地区の宝だと思います。また、ひまわりまつりや、大凧祭りなどの会場に歩いて行けるほど近いというのも特権です。

まわりに田んぼが多いことから、地域の方々にご協力いただき、座間小、入谷小は田植えから稲刈りの後、はぎかけをして脱穀までのすべての米作りを体験し、12月には自分たちが収穫したお米で餅つき大会を開催し、地域の方々とふれあいながら美味しいお餅をいただきます。

学区内には、神社、仏閣や古くからの農家も多く、座間の伝統や文化を継承している地域で、お囃子や歌舞伎などの伝統文化を地域の方々が子ども達に指導していただいています。



2. 地区の活動目標

『地域に根ざした指導員活動』が目標

- ① 地域行事に積極的に参加しよう
- ② 地域の輪、人の輪を大切にしよう
- ③ 地域の文化、レクリエーション活動の推進役になるよう努力しよう

3. 地区の主要活動

◎ 西中学校区青少年フェスティバル

令和4年度【12月3日（土）】

コロナ禍の時期は恒例の「部活動体験会」が「見学会」となっていましたが、4年度からまた「体験会」という形で開催されました。

座間小、入谷小の6年生を対象に参加者を募り100名以上の小学生が中学生のお兄さん、お姉さんに優しく教えてもらいながら部活動体験をしました。

見学会の時は、見学しているだけなので時間を持て余し気味だったのに、体験会では時間が足りないくらい盛り上がっていました。

1部では、部活動紹介と文化部実演（合唱や吹奏楽部の演奏など）、2部ではグラウンド、体育館、校内と3グループに分かれて30分ずつローテーションで全ての部活を周り、スポーツ、工作、楽器体験など部活ごとに趣向を凝らしてくれたので、小学生の皆さんも楽しい体験になったことと思います。



ただ、まだ新型コロナの不安がなくなったわけではないので、マスク着用、体調管理のチェックシート提出、そして何より皆が楽しみなカレーの提供も控え、その代わりにお菓子や文房具の参加賞を子ども達に渡しました。



令和5年度【12月2日（土）】

5年度の青少年フェスティバル「部活動体験会」はコロナ禍前の活気溢れるイベントに戻り、校庭で釜二つ使ってカレーも作りました。

外の釜は男性指導員が担当し、女性指導員は調理室で食材切りと子ども達の案内に分かれて担当し、PTAの方々や先生方と協力して臨みました。

部活動体験では、昨年同様に中学生のお兄さん、お姉さんが工夫して小学生たちに優しく教えてくれたり、体験させてくれたりと、楽しい時間が過ぎていきます。外でカレーを作っているの、グラウンドでそれを見ている子どもたちの「今、じゃがいも入りました～」「カレールー入りまーす」と大声で実況してくれる子も。お替りしてくれた子ども達の「本当に美味しかった～ありがとうございました」と言ってくれる嬉しそうな顔を見ていると、充実感でいっぱいになりました。

部活動体験は、あと数か月後に中学生になる小学6年生が中学の部活動に初めて触れ、部活選びの一助になると同時に、中学生がいち早く部活のアピールが出来るという素敵な機会だと思います。工夫しつつ一生懸命に教えている中学生の姿や初めての体験に照れながらも楽しんでいる小学生の触れ合いがとても微笑ましいです。





4. その他の活動

7月31日の鈴鹿神社宵宮祭時の境内及び周辺の防犯パトロールや、毎月2週目の木、金曜日に西中学校で登校時に昇降口付近で挨拶運動を行っています。

子ども達が照れくさそうに挨拶を返してくれたり率先して元気よく挨拶してくれたり、こちらも元気をもらっています。



5. 2年間を振り返っての感想

角 田：青少年指導員に携わって10年になります。たぶんこの活動が好きなんだろうなあ…と、思っています。でも、その反面行事をただこなしている自分もいます。

私達の子どもの頃とは子ども達を取り巻く環境が大きく変わったような気がします。社会の流れや仕組みが変わっていくのだから当然のことだと思います。昔の方が良いと言っているわけではありません。もちろん一長一短あ

ります。その中で指導員の活動も変化（進化？）しなければいけない時期ではないのかなど、感じています。ただ、子ども達の本質は何も変わっていないと思います。子ども達の笑顔に直接携われる指導員の活動だからこそ出来ることもあるのではないのでしょうか？

仲間と一緒に子ども達の笑顔が見られるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。

小 林：イベントお祭り大好き西中学区！子どもたちよりも楽しんでいた青少年フェスティバル！久しぶりのカレー作りは、コロナ前とは、やり方やPTAとの関わり方も変わり、バタバタしたけれど、何より子どもたちの笑顔と食欲にパワーをもらい、楽しい時間となりました。

指導員活動のモチベーションはやっぱり直接会って！話して！絡んで！だと思っているので、指導員同士、子どもたちや学校、地域と絡んで、これからも活動していきたいです！

鈴 木：早いもので指導員を引き受けてから5期が終わろうとしています。

コロナ禍で活動が制限を受けていましたが、今年の青少年フェスティバルでは参加者の皆さんにカレーをふるまう事ができました。何年もやっていなかったもので、大量のカレーを作るノウハウがPTAの方々に伝承されていなくて少し手こずりましたが、当日は上手く（美味しく）、楽しくできました。

私はと言うと、仕事が深夜のため、年々、早起きがとても辛くなってきています。こんな事で午前中の活動が多い指導員が続けていけるのか心配ではありますが、代わりも見つけれないので、またお世話になるつもりです。

明 石：この2年間で特筆すべきことは、恒例の「部活動体験会」という青少年フェスティバルが開催されたことでしょうか。コロナ禍の時には中止になったり、「見学会」になったりで、残念な思いもしましたが、コロナも落ち着き、子ども達が部活動の体験を通して触れ合うことが出来たのが嬉しかったです。そして5年度の青少年フェスティバルではカレー作りも復活！釜で作るカレーは格別で子ども達も大喜びでした。そんな子ども達の姿を励みに、今後も楽しいメンバーと共に指導員の活動をしていきたいと思っています。

吉 川：学校行事もコロナ禍後、通常に戻りつつあり、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。青少年フェスティバルでは、部活動体験とカレー作りなど子どもたちと触れあい充実した一日でした。次年度もより多くの指導員活動に参加できるよう頑張ります。よろしくお願いします。

松 本：今期もあっという間に終わり、活動も復活してきて楽しい2年間でした。
青少年フェスティバルでは久しぶりのカレー。数年前の水が多めのカレーになった事を言われ続けてきただけど、ちゃんと出来たかなって思っています。外でカレーの番をしていたので、小学生中学生達とあまりふれあえないかなって思ったけどカレーのお陰でふれあうことも出来て有意義な時間を過ごせました。ざまりんになりたかったなあ～今年はれると良いな。

山 城：活動が充実しすぎたせいか年のせいだかなんだか2年間があっという間に過ぎました。だいぶ通常に戻ってきた活動にもなり、頼もしい先輩方にも助けられ、楽しく過ごさせていただきました。他地区、他市の指導員の方々との出会い、素敵な縁にも感謝です。
2年間とても充実した活動ができ、勉強させていただきました。ありがとうございました。

中 島：2年間は、やはりあっという間だったと言えます。
令和5年の青少年フェスティバルで小、中学生にカレーを食べてもらった事は、本来のフェスティバルに戻り、そうそう、この笑顔だ！と改めて感じられました。青少年指導員で、できる事をやっていきたいと思います。

梅 原：青少年指導員として過ごした2年間で学校と地域の繋がりを感じることができました。特に青少年フェスティバルでは生徒たちが美味しそうに、楽しそうにカレーを食べる姿を見て日頃温かく見守ってくださる方がいるから生徒達はのびのびと成長できていると実感しました。本当にありがとうございました。



東 中 学 校 区

1. 地区の特色

長期の経済低迷により、高度成長期時代から市の発展に貢献してきた工場などが撤退し、地区の特色であった企業城下町的要素は薄らいでいます。その代わりに、大型スーパーや大型商業施設が何軒もでき、地域の人たちだけでなく、遠方からの買い物客なども多く、休日は車の渋滞が続いています。

また、複数の物流センターができ、国道246号線から東中学校区を通り行く車もますます増加している傾向にあります。

しかし、長年続けて頂いている登下校時の地域の方々の見回りや、PTAの登下校時指導に助けられ、大きな事故もなく、子ども達はのびのびと安心して過ごしています。

2. 地区の活動目標

「地域密着型の指導」が基本目標

- ① 健全育成協議会との綿密な連携
- ② 自治会、青少年団体などの活動事業に積極参加
- ③ 青少年の社会参加活動への援助



3. 地区の主要活動

令和4年度、5年度は無事フェスティバルを開催することができました。

コロナ禍の中、修繕したかまどは絶好調で、一番美味しいと噂の大鍋カレーを提供できました。5年度は新しい試みとして、①ドッジボール大会 ②小学生に向けて部活紹介・体験、を取り入れました。ドッジボール大会は大変好評で、中学生はほんのひとときですが、無邪気にしかし熱く本気で楽しめたようです。部活紹介・体験については、時間調整など課題が残りました。

今後も少しずつでも変化し、より楽しいフェスティバルになるように努力、協力していきましょう。



4. その他の活動

例年「ひばり小ふれあいまつり」「旭小ときめき秋祭り」に、指導員として無料体験「けん玉コーナー」「バルーンアートコーナー」を設け、子ども達とのふれあいを楽しみにしていたのですが、コロナ禍以降、外部団体の参加ができなくなり本当に残念でした。

今後、子ども達の笑顔溢れるイベントに、参加する機会が少しでも増えることを期待しています。

5. 2年間で振り返った感想

山 田：この2年間で、指導員活動も徐々に通常通り行えるようになり、地域のお祭りやイベントも復活し、子ども達の楽しんでいるようすや明るい声は、周りの大人にも活力を与えるものだ、と改めて感じました。

今後も、地域や学区内で指導員が楽しく活動し、子ども達の笑顔に会える機会が少しでも増えることを期待しています。

佐藤(和)：長らく続いたコロナ禍の自粛が解かれ、お祭りやイベント会場に子ども達の元気な笑顔が戻ってきたようです。その一方で、座間市からの委託事業のフェスティバルは、主に中学生や小学生のためのイベントでありながら、開催場所の中学校が、働き方改革のためか学校側は非協力的で、委託側と現場のねじれ現象が立ちはだかり、根本から見直す時期にきているかと感じました。

中 川：まだ、コロナ禍中の2022年は、フェスティバル実行委員会で開催決定。当日、名物のカレーの準備で2年間の中止中に釜戸の修復作業を実施し、上出来で嬉しかったです。しかし、学校、PTAに誰も経験者がいなくスケジュール調整にてんてこ舞いのフェスティバル。それを踏まえて2023年度は準備万端、タイムスケジュール通り事が運び良かったです。コロナも終息に向かい今後は他の活動も増え充実感ある活動に努めていきます。

中 野：今期は文化部長として、指導員皆様のご協力のもと、無事に務めあげることができたと思っております。ありがとうございます。また、活動内容も以前のように盛んに行え、忙しく思いましたがやりがいを感じ、自身も指導員の活動を通して成長できたらと改めて思いました。

佐藤(伸)：時が経つのは早く、あっという間の2年間でしたが、今期も思うような活動ができず、皆さんにご迷惑をお掛けしました。

アフターコロナになり、活動もできるようになってきましたが、世の中は変わりつつあり以前の活動ができづらくなった感がありました。

今後は既成概念にとらわれない活動の仕方を工夫していかないと、と思いました。

吉 田：2年間、和を大切に、明るく楽しく心ふれあう活動を、と青少年フェスティバル、美術展、ふるさとまつりの参加などの活動。

コロナの時にできなかった思いが溢れ出た様な2年間だと思います。

地域の皆さんとのつながりもあり、子ども達の笑顔を見ることができて本当に良かったです。

また、その笑顔のため地域の青少年健全育成に努めます。

塩 見：今期途中より青少年指導員として活動させていただきました。

1年目は右も左も分からず、先輩方にご教授いただき、2年目の青少年フェスティバルでは積極的に取り組むことができ、子ども達の笑顔をととても嬉しく思いました。

また青少年健全育成大会の主張作文や美術展の作品に大変感動し、子ども達の育成に関われることを大変光栄に思います。

綿 貫：今年の青少年フェスティバルは、例年の取組に加えて、新たな試みとして小学生が参加できる「部活動体験」を導入しました。地域に拓けた学校を目指す本校では、次年度以降につながる実りある青少年フェスティバルとなりました。

子どもたちの笑顔を増やすために何ができるのか、試行錯誤した活動期間でした。良い機会（時間）を与えて頂き、感謝しています。

栗原中学校区

1. 地区の特色

座間の中心に位置するここ栗原は、都市化と昔ながらの風景が混在している地域です。遠くに阿夫利嶺を望み、公園では四季折々の風景が楽しめます。

ここに住む人々は、地域の文化と風習を守り、それを継承する活動を展開しています。青少年の健全育成においても地域の関連団体が連携をとりあい、それにふさわしい地域づくりを目指しています。

2. 地区の活動目標

- ① 指導員として、より地域の状況を把握する
- ② 挨拶を通し青少年への声掛けを積極的にする
- ③ 健全育成連絡協議会との情報交換を密にする
- ④ 地域行事への参加、協力を積極的にする
- ⑤ 青少年の夢の実現に協力を惜しまない



3. 地区の主要活動

◎ 栗原中学校区青少年フェスティバル

2年ぶりの開催となった令和4年度は新たにポッチャとモルックを種目に加え、ファイナーレでは座間音頭を全員で輪になって踊りました。また、恒例だったカレーが振る舞えない代わりに、栗中マスコットの「くりまるくん」デザインのクリアファイルをプレゼントし、生徒たちから大変好評でした。

令和5年度の新たな試みとしては、非常用保存食「アルファ米」炊き出しセットの実演を行いました。一箱に8リットルのお湯を注ぎ15分蒸らすと50食分が作れるというもので、出来上がった五目ごはんは大変美味しく、生徒のみならず私たちにとっても貴重な体験となりました。



4. その他の活動

あいさつ運動

栗原中学校PTA活動の「あいさつ運動」に、毎月一回、青少年健全育成連絡協議会の協力日として校長先生をはじめ、先生方、PTA、自治会、民生委員の方々と一緒に参加しています。

5. 2年間で振り返っての感想

大 澤：今期、コロナ禍も穏やかになり行事も多く開催された。長く行動が規制され、要領を忘れたような事もあったが程よく消化できたと思う。やはり人々が集まって何かをするという事は、色々な面からも良いことではないかと改めて感じている。ただ、私達と連携している教職員が「働き方改革」に抑制されているのか、行動が曖昧になっている事が懸念される。個人として、“老兵は去る”ではありませんが今期で指導員を退任します。後は後継者に託すのみです。長い間お世話になりました。

寺 田：今期はコロナ禍の中、インフルエンザ蔓延の中、青少年フェスティバルを開催できましたことに感謝です。

本年度は学級閉鎖等がありましたが少人数での参加でしたが開催することができました。これもひとえに多くの方々のご鞭撻があつてのことです。ありがとうございました。これからもいろいろな事に携わっていかれたらと思っております。

深 谷：今期は、青少年指導員の活動も少しずつ元に戻り、チームワークの良い仲間と楽しく活動できたことを嬉しく思います。

しかし、青少年フェスティバルでは、土日の活動に中学校の協力をいただくことが難しくなつたと感じました。これからの活動は、学校との関わり方を考える必要があると思いました。



平 野：今期2年間はコロナの影響も軽減され、ふるさと祭り、フェスティバル、青少年美術展の開催等地域の方々と繋がりながら活動する事ができました。中でもフェスティバルで行った競技はまるでオリンピックを思わせるような白熱した戦いとなり心に残る大成功のフェスティバルになりました。これからも地域、学校、指導員と連携を取りながら更に子どもたちの成長に携わっていきたいです。ありがとうございました。

松 崎：今期もあっという間の2年間でした。新型コロナウイルス感染症で殆ど活動ができなかった前期より活動できましたが、まだまだ不十分な今期でした。次期は子どもたちの「笑顔」そして我々指導員の「笑顔」がたくさん見ることができるよう活動したいと思っています。よろしくお願いします。

池 谷：コロナウイルスと共存する生活となり、青少年フェスティバルは、やっと再開。座間音頭や災害時の非常食のアルファ米のご飯の作り方をみんなで学んだ事も良い体験だったと思います。また、朝の挨拶運動の子ども達の声は、前よりも大きく感じますし、登校してくる1年生の制服がブレザーに代わり、私の母校でもある栗原中の今後に期待&応援します。

神 永：今期2年間は指導員として活動していなければ、経験することができなかった様々な研修会や行事に参加させていただき、とても貴重な経験となりました。ありがとうございました。これからも、栗中生の健やかな成長と活躍を、地域住民のひとりとして陰ながら見守り、ずっと応援しております。



相模中学校区

1. 地区の特色

私たちの地域は、市の最北に位置し、相模原市と大和市に隣接した、小田急相模原駅を中心に広がる商店街と住宅と工場が混在するエリアです。最近では、工場の跡地や駅周辺の整備に伴い高層マンションが建設され、町の外観も変化し始めています。

この地域の特色として、地域交流の核となる神社・仏閣が一つもないことが挙げられます。そのため、旧農業用水路沿いに植樹された桜並木で、地域交流の場として「桜祭り」が開催され、今ではなくてはならない行事として定着しています。

2. 地区の活動目標

- ① 地域に密着したふれあい
- ② 地域の行事等に参加協力し健全育成団体との連携を図り、青少年健全育成のサポート役となる



3. 地区の主要活動

ここでいう「主要活動」とは年1回相模中学校で開催する「青少年フェスティバル」のことである。今期は6中学校区のトリを務め、ざまりんのクリスマスイベントとして、相模中学校コミュニティ・スクールとの共催と地域の協力団体さんが振る舞う「食」と楽しいゲームなどを実施したところ、当日の参加者数が2年連続で500人を超え、座間中学校に次ぐ第2位となりました。（関係者皆様のご協力の賜物と感謝、感謝です。）

ほぼ毎月ある役員会を受けて行われる地区協議会も殆どLINE開催にし、指導員仲間と顔を合わせるのには、青少年フェスティバル開催前の打ち合わせ程度でした。





4. その他の活動

毎年、相模が丘の桜並木で開催される「桜祭り」に参加し、子どもたちにぬり絵などを描いてもらい、その作品を沿道に貼ることで、祭りを見物に来る市民の目を楽しませています。

5. 2年間を振り返っての感想

吉 澤：ようやくコロナ前の景色が戻ってきたかな…というのが今期の感想そして気づけば青少年指導員を引き受けて7期14年が経っていた貢献度はあやしいものですがそろそろ潮時です。お世話になりました。

東 谷：今期をもって退任いたします。大したことはできなかったですが、様々な経験をすることができた事、こども育成課、青少年指導員の皆さんと楽しい時間を共有できた事…嬉しくおもいます。

また、再会した時には、「お互い変わらないね」と笑い合えたら良いなとおもいます。大変にありがとうございました。

高 橋：早いもので6期が終わろうとしています。コロナ禍が過ぎ、日常の活動ができることがうれしかったです。

石 田：先ずは、東谷さん、吉澤さん長い間の青少年指導員お疲れ様でございました。引き続き残る私たちを今後とも見守っていただけたら幸いです。さて、今期2年間の相模中学校区青少年フェスティバル参加者数が500人を超えたことは大変喜ばしく、来期は座間中学校を超えたいですが？・・・目指せ！1千人（目標は高く！！）

茂 木：ようやくコロナ禍も収まり活動をすることができました。
とは言えまだ何もわからないし見習いのような立場でした。
少しずつでも活動への理解を深めていきたいと思います。

中 山：この2月から、青少年指導員として皆さんと活動を共にさせていただく中山と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、私ごとではありますが、私はこの3月で座間に来てから60年目を迎えました。小学校入学直前のピカピカの一年生だった私は、今や孫たちから「じいじ」と呼ばれて遊び相手をすることが日課になっています。

時代は変わりましたが、私たちが小学生から中学生へと成長する過程で沢山の大人の方々が助けてくれたように、私も皆さんと共に今の児童生徒たちが少しでも実りある生活が送れるよう力を添えて行きたいと思っています。

高 山：青少年指導員として今年度より活動に参加させていただきました。この1年間を振り返ると、子どもたちのために、指導員のみんなでたくさん話し合ったり、青少年フェスティバルを運営したり、たくさんの方を指導員は行っていると実感することが出来ました。しかし、自分自身は指導員として、できたことがありません。来期では、もっと出来ることを増やし、さらに青少年フェスティバルを盛り上げていきたいと思っています。



第54回(令和5年度)神奈川県青少年指導員大会
令和5年11月12日(日) 松田町生涯学習センター

南 中 学 校 区

1. 地区の特色

私たちは国道246号バイパスの南側から海老名市境までの南中学校区を活動範囲としています。区域内には東地区文化センター、東原コミュニティセンターがあり、斜面地等の宅造化により新築住宅地が増えてきました。学校近くには目久尻川や蛍で有名ないっぺい窪があり6月には蛍の舞う姿が見られます。また、近くには龍蔵神社があり毎年7月には祭礼でにぎわいます。

2. 地区の活動目標

- ① 地域の行事等へ積極的に参加、協力する。
- ② 地域に根ざした指導員を目指す。
- ③ 青少年健全育成連絡協議会との交流を密にし、情報交換をする。



3. 地区の主要活動

◎ 南中学校区青少年フェスティバル

新型コロナウイルスも5類になり、令和5年度は新しい種目も加えて、毎年案内を出していた学区内の小学校児童も参加して、12月2日（土）に実施しました。以前のフェスティバルの賑やかさに戻った感じがしました。また、学校側の協力により先生方のお手伝いを頂きながら開催することが出来ました。中学生生活の思い出の1ページを作ることが出来たと思います。

当日は、天候にも恵まれ沢山の生徒が参加し、グラウンドでの競技をおおいに楽しんでいました。

成績発表の後には事前予告をしていた校長との「じゃんけん大会」で、生徒もスタッフも大盛り上がり、競技終了後に食事提供をして楽しいフェスティバルの幕閉めとなりました。生徒から「楽しかったです」の声を聴くと、フェスティバルを開催してよかったと思います。





4. その他の活動

コロナ禍の中で活動制限がありますが、例年、東原コミュニティセンターの「コミセン祭り」や東地区文化センターの夏季イベント「サマーアイランド」に実行委員として参加。「ゲーム」や「スイカ割」を担当している。

また、南中青少年健全育成連絡協議会に参加、龍蔵神社、栗原神社の祭礼日にパトロール実施。



5. 2年間で振り返っての感想

萩原：あ～っという間の2年間、早い！！

コロナの言葉も少し遠のいたが油断禁物でもある。行事も普通にできて子ども達の笑顔にもいっぱい出会えた。29期も出会いを求めて頑張ろう。

大矢：コロナ禍前のように自分自身が「動けないなあ～」と思い、研修等で学んだ事を上手く使える機会を設けて指導という形で子ども達とかかわれる機会を考えねばと感じていた2年間でした。また、イベント実施の作業などに苦労したように思え工夫が必要だと反省している自分がいました。いずれにしても活動の区切りとなり、2年間皆さんにお世話になりありがとうございました。

牧：あっという間に2年が過ぎてまた新たな2年が始まる……。どんな2年になるのかな？私に何ができるのかな？情けは人の為ならず……。笑顔で頑張ります！

桑畑：コロナが5類になり普段の生活に戻りつつありますが、まだマスクは外せないでいます。指導員活動も以前のように戻りフェスティバルでは、新しい種目を加えて盛り上がり、中学生と触れ合える事が出来て良かったです。2年間、皆さんに助けられながら活動が出来た事に感謝致します。ありがとうございました

谷：「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに、まじめなことをゆかいに、そしてゆかいなことはあくまでゆかいに」常に心掛けている言葉ですが、実践するのはむずかしい。けれども、やっぱり大事なことです。あくまでゆかいな活動を心がけます。2年間ありがとうございました。

七井：指導員として活動した2年間は、地域の方々との繋がりの中で、子どもたちの健全育成に地域全体の力が必要であることを実感しました。様々な活動を通して、子どもたちは大きく成長し、地域との絆も深まりました。この2年間で得た経験と学びを活かし、これからも指導員の方々や地域の方々協力し、子どもたちが安心して成長できる温かい環境作りに貢献していきたいと考えています

全 体 活 動 報 告

(1) ふるさとまつり

(2) 座間市成人式

(3) 青少年芸術祭
(青少年美術展)

(4) 専門部活動

① 文化活動部研修会

② 野外活動部研修会

③ きずな編集部

(5) 交流事業

二市合同研修会

(1) ふるさとまつり

令和5年11月19日（日）、秋晴れのもと第38回座間市民ふるさとまつりが開催され、大勢の来場者でにぎわいました。

今回は例年人気のスマートボールと釣りゲームの2つを実施し、大勢の子ども達が青少年指導員ブースの前に行列を作りました。

スマートボールは2台用意し、子ども達はあまり見かけないレトロなゲームに夢中になり、ボールが穴に落ちるたびに盛り上がりました。釣りゲームは、発泡トレイに子ども達自身が描いた魚やざまりんなどのキャラクターを釣りあげます。今回からビニールプールに加え、タライも追加し、大盛況です。時には釣りよりもお絵かきに夢中になってしまう子ども達もいて、まつりの終了時間まで子ども達の笑顔で溢れていました。



(2) 座間市成人式

○ 令和4年度

令和5年1月9日（月）の成人の日、晴天の中ハーモニーホール座間大ホールを会場に令和5年度座間市成人式が開催されました。市内新成人対象者1,201人で、当日は778人が式典に参加しました。

令和4年度は、座間市成人式実行委員会が組織され、今回初めてとなるアトラクションの部を企画し、座間市出身のプロボクシング選手である井上尚弥さんからのビデオメッセージやお楽しみ抽選会、中学校区ごとの集合写真の撮影を行いました。



○ 令和5年度

令和6年1月8日（月）に開催となった成人式では、令和3年度から新型コロナウイルス感染症の影響により式典を午前、午後の2部制での開催から、今までの1部制での開催に戻し、市内新成人対象者1,163人で、当日は828人が一堂に会することができました。

青少年指導員は、当日、受付及び会場整理、誘導等に従事しました。会場ロビーにはスーツやはかま姿・晴れ着姿の新成人たちが集まり、笑顔が満ち溢れていました。式典が始まると会場の新成人たちは静粛に受け止めて新たな誓いをそれぞれの胸に刻んだことと思います。その後のアトラクションの部では、大いに盛り上がったようです。



(3) 青少年芸術祭

43回目を迎えた青少年芸術祭は、人形・音楽・舞踊・展示の四つの部門で構成され、毎年多くの青少年の参加を得ています。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が残りつつも、すべての部門が無事に開催することができました。

令和4年度の展示部門（青少年美術展）は、令和5年2月25日、26日に開催されました。作品募集では彫塑・工芸作品を感染症拡大防止により令和元年度から募集できておりませんでした。3年ぶりに募集を再開することができ、絵画や写真のほか、彫塑・工芸の立体作品など様々な作品を市内の小学校・中学校・高等学校、座間養護学校の児童生徒の皆さんから663点の出品をしていただきました。

青少年指導員は、学校への出品依頼、作品搬入、作品整理、審査協力を行いました。

審査は、元三軌会会員の吉野光治先生、日本写真協会会員の高橋ぎいち先生に奨励賞を選出いただきました。力作が多く、先生方もだいぶ悩まれていました。今回から

「優秀賞」を新設し、総勢56人が受賞されました。

昨年度から実施した審査員の吉野光治先生、高橋ぎいち先生の作品展示も大変好評で、多くの人たちが足を止められて観ていました。



(4) 専門部活動

① 文化活動部研修会

今期は令和4年度、令和5年度の2年間を通して歌舞伎教室を開催しました。令和4年度では、令和5年度に向けての事前研修という形で11月6日にハーモニーホール座間大ホールで行われた「令和4年度第25回公演 入谷歌舞伎公演」を観賞しました。

令和5年度は8月5日に入谷歌舞伎会の皆さんを講師にお招きし、入谷歌舞伎会のあゆみ、歌舞伎の用語、声色の実演、一演目をビデオ鑑賞で学び、入谷歌舞伎会指導員による歌舞伎の体験を行いました。当日の研修会場には、歌舞伎の台本やお手製のポスターなどもご持参いただき、半日ではありましたが、敷居の高い歌舞伎の知識を深めることができました。地元で傳承していく大変さや必要性など、私達青少年指導員にも何か通じる所を感じました。



② 野外活動部研修会

- 令和4年度（令和4年9月25日（日）開催）

令和4年度の野外部研修会は、「防災講座」として日常生活でも怪我や不慮の事故等に遭遇した場合、一次救命救急処置ができるように訓練用の人形を用いて胸骨圧迫（心臓マッサージ）の体験とAED（自動体外式除細動器）の取扱いの訓練・指導を受けるとともに、ここ数年各地での大きな自然災害が発生したことにより改めて防災について考える必要があるのではないかと考え、まずは避難所開設における簡易テントの組立方法や備蓄倉庫にはどのような防災グッズが保管されている

のか確認をしました。



○ 令和5年度（令和5年9月3日（日）開催）

令和5年度の野外部研修会は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが変更され、これまでのように戻ってきたこともあり、和気あいあいと皆で一緒に体を動かし楽しめるニュースポーツであるモルックとボッチャにチャレンジしてみました。指導員のローカルルールを採用し一見単純で簡単そうに見えましたが、いざやってみると思いのほか難しく、逆転勝ちや数点差で負けてしまうなど盛り上がり、楽しみながら絆を深めました。



③ きずな編集部

編集部の活動は広報誌「きずな」の発行（初年度2回、次年度1回）と、期末に事務局で編集・発行される本誌の「各地区協議会活動報告」の原稿作成等です。今期は「きずな第63号、64号、65号」を発行しました。

令和4年10月発行の「きずな第63号」は、1面で南中学校区の活動紹介として「サマーアイランド」参加報告を記事にしました。2・3面では今期の各学区の青少年指導員の紹介、4面では西中学校区の活動報告として「鈴鹿明神社のパトロール」と栗原中学校区の活動報告として「栗中あいさつ運動」を記事にして作成しました。

令和5年3月発行の「きずな第64号」は、1面で第43回青少年芸術祭の特集

記事として青少年美術展の審査風景と入賞作品を紹介しました。2・3面は各地区の青少年フェスティバル実施報告を、4面では令和4年9月に実施した野外部研修会、11月に開催したふるさとまつり、令和5年1月の成人式の参加報告を記事にしました。

令和5年12月発行の「きずな第65号」は、1面でふるさとまつりを紹介し、2・3面は「各地区協議会から」と題して各地区の青少年フェスティバルの実施報告を記事にしました。4面では文化部・野外部研修会、3年ぶりの開催となった座間市・大和市合同研修会の実施報告と、令和5年度県青少年指導員表彰を受賞された相模中学校区の吉澤雅規さんから受賞コメントをいただきました。



(5) 交流事業 二市合同研修会

令和5年10月14日(土)に新型コロナウイルス感染症の影響により長らく中止になっていた座間市・大和市合同研修会が3年ぶりに座間市立青少年センターで開催されました。座間市29人大和市12人の合計41人が参加しました。

内容は木工工作ワークショップです。9班のグループに分かれ自己紹介から始まり親睦を深めた後、角田副会長の指導のもと、まずは座学として「太子講」のお話をいただき、工作として小物入れを作りました。普段手に取らないかなづちを使い、慣れない釘打ちで大盛り上がりでした。完成後は、意見交換会を実施しました。

市町村によって活動内容や選出方法の違いはあれど、青少年を思う気持ちは同じであり、絆の深さで私達は同じ目標を持つ仲間だと実感しました。



参 考 資 料

- 令和4・5年度座間市青少年指導員名簿
- 神奈川県青少年指導員委嘱要領
- 座間市青少年指導員に関する要綱
- 座間市青少年指導員協議会規約・組織
- 県・県央地域青少年指導員連絡協議会体系図
- 教育・文化・スポーツ施設一覧

令和4・5年度座間市青少年指導員名簿

(任期 令和4年4月1日から令和6年3月31日)

地区	No.	氏名	役職	専門部	地区	No.	氏名	役職	専門部
座間中学校区	1	有山 博幸		きずな	栗原中学校区	1	大澤 道夫		野 外
	2	栄 淑	会計	きずな		2	寺田 栄枝	事務局長	文 化
	3	中村 篤人		野 外		3	深谷 光子		文化
	4	山本 千種		文 化		4	平野 敦子		きずな
	5	三ツ橋 栄司		野 外		5	松崎 浩司	地区幹事	野 外
	6	人見 智子	地区幹事	文 化		6	池谷 久三子		文 化
	7	佐久間 頼夫	野外部長	野 外		7	神永 朋子		きずな
	8	小坂 好美		文 化		8	奥平 勝幸		野 外
	9	東 和寿		野 外					
西中学校区	1	角田 紀和	副会長	きずな	相模中学校区	1	吉澤 雅規	地区幹事	きずな
	2	小林 慶子	地区幹事	野 外		2	東谷 美樹		野 外
	3	鈴木 陽子		文 化		3	高橋 由美子		文 化
	4	明石 さゆり	監査	きずな		4	石田 信一	きずな編集部長	きずな
	5	吉川 正剛		野 外		5	茂木 章一		野 外
	6	松本 康裕		野 外		6	中山 啓		きずな
	7	山城 千穂		きずな		7	高山 明志		文 化
	8	中島 みずほ		文 化					
	9	梅原 健人		野 外					
東中学校区	1	山田 映子	監査	きずな	南中学校区	1	萩原 正恵	会長	文 化
	2	佐藤 和夫	副会長	野 外		2	大矢 弘		きずな
	3	中川 正親	地区幹事	野 外		3	牧 篤美		文 化
	4	中野 笑美子	文化部長	文 化		4	桑畑 武	地区幹事	野 外
	5	佐藤 伸之		野 外		5	谷 芳生		野 外
	6	吉田 奈々子		文 化		6	七井 謡一		野 外
	7	塩見 千草		文 化					
	8	綿貫 大輔		野 外					

神奈川県青少年指導員委嘱要領

1 目的

この要領は、知事が神奈川県青少年保護育成条例（以下「条例」という。）第43条第1項の規定に基づき委嘱する青少年指導員（以下「指導員」という。）の委嘱等について必要な事項を定める。

2 指導員の推薦

- (1) 市町村長又は市町村教育委員会教育長（以下「市町村長等」という。）は、青少年に対し深い理解と愛情を持って健全な育成に努めている人を、指導員として知事に推薦するものとする。
- (2) 指導員の推薦に係る様式その他必要な事項は別に定める。

3 指導員の委嘱

- (1) 知事による指導員の委嘱は、委嘱状を交付して行う。
- (2) 指導員の委嘱に係る様式その他必要な事項は別に定める。

4 指導員の活動

指導員は、条例第43条第2項の規定に基づき、市町村や県と連携して、地域の特性に応じた青少年の健全育成に資する活動を行う。

5 指導員の任期

指導員の任期は、隔年の4月1日から翌々年の3月31日までの2年間とする。ただし、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。また、当該2年間の途中で委嘱した場合の任期は、委嘱の日から当該2年間の終期までとする。

6 指導員の委嘱の取消し

- (1) 任期中において、次の各項に該当するときには、指導員の委嘱を取り消すことができる。
 - ア 市町村長等から交替又は解任の申出があった場合
 - イ 指導員としてふさわしくない非行等があった場合
- (2) 指導員の委嘱の取消しに係る様式その他必要な事項は別に定める。

7 協議会

指導員活動の効果的推進及び指導員相互の連携を図るため、神奈川県青少年指導員連絡協議会を置く。

附 則

- 1 この要領は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この要領の施行の際現に指導員として委嘱されている者は、この要領の規定にかかわらず指導員とし、その任期の終期は平成24年3月31日とする。

【参考】神奈川県青少年指導員保護育成条例（平成22年10月22日改正 平成23年4月1日施行）
（青少年指導員等）

第43条

知事は、市町村長又は市町村の教育委員会が推薦する者を、青少年指導員として委嘱することができる。

- 2 青少年指導員及び青少年関係団体の構成員であつて規則で定める者（以下「青少年指導員等」という。）は、他の関係者等と連携し、及び協力して、地域における活動への青少年の参加の促進その他の青少年の健全な育成に資する取組を行うものとする。

座間市青少年指導員に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、地域における青少年の自発的活動及び愛護活動を推進するために座間市青少年指導員（以下「指導員」という。）を置き、青少年の健全育成を図ることを目的とする。

(活動)

第2条 指導員は、地域における青少年（おおむね小学校就学時から20歳までの者をいう。）の育成及び愛護活動並びに青少年施設等の活用を図るものとし、次に掲げる活動を行う。

- (1) 青少年団体の指導育成及び組織化
- (2) 文化及びレクリエーション活動の推進
- (3) 青少年育成組織の強化と地域活動の推進
- (4) 環境の整備及び浄化活動
- (5) 青少年に関する相談と愛護活動

(謝礼金)

第3条 市長は、指導員に謝礼金を支払うことができる。

(定数等)

第4条 指導員の定数は、50人以内とする。

2 市長は、次に掲げる団体等のうちから青少年に対し深い理解と愛情をもって健全な育成に努力している者を指導員とする。

- (1) 自治会
- (2) 子ども会育成会
- (3) 小学校・中学校のPTA
- (4) その他適当と思われる機関及び団体

(実施細目)

第5条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

座間市青少年指導員協議会規約

(名称及び事務局)

第1条 本協議会は、座間市青少年指導員協議会と称し、事務局を座間市こども未来部こども育成課に置く。

(目的)

第2条 本協議会は、青少年指導員の連絡提携により指導力の充実を図り、地域における青少年健全育成活動を主体的に推進することを目的とする。

(構成)

第3条 本協議会は、座間市青少年指導員（以下「指導員」という。）をもって構成する。

(活動)

第4条 本協議会は、第2条の目的を達成するため次の活動を行う。

- (1) 青少年健全育成活動の実施
- (2) 青少年指導に必要な研修会の開催
- (3) 指導員相互の連絡及び情報交換
- (4) 関係機関並びに諸団体との連絡調整
- (5) その他目的達成に必要な活動

(役員)

第5条 本協議会に次の役員を置き、その任期は指導員の任期中とする。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 2 名
- (3) 地区幹事 6 名
- (4) 専門部長 3 名
- (5) 事務局長 1 名
- (6) 会 計 1 名

2 上記役員の外に、監査2名を置く。

(役員職務)

第6条 役員職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、協議会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- (3) 地区幹事は、地区を代表し、会務について審議する。
- (4) 専門部長は、専門部を代表し、会務について審議する。
- (5) 事務局長は、協議会の総括事務を行う。
- (6) 会計は、この会の会計を掌握する。
- (7) 監査は、この会の会計を監査する。

(役員を選出)

第7条 本協議会会長、副会長並びに専門部長については、選考委員会が全員の中から推薦し、全体会で選出する。

2 地区幹事は、各中学校区（以下「各地区」という。）の指導員の互選による。

3 事務局長は、会長が指名する。

4 地区幹事が、会長、副会長、専門部長又は事務局長として選出された場合は、すみやかに後任の地区幹事を補充するものとする。

5 会計は、指導員の互選による。

6 監査は、役員会の推薦による。

(選考委員会)

第8条 本協議会に、役員選出のため選考委員会を置く。

2 選考委員会の委員は、各地区の指導員の互選とし、地区ごとに1名選出する。

(協議会の会議)

第9条 本協議会の会議は、全体会、役員会及び三役会とし、会長が召集する。

2 本協議会の会議の構成員は次のとおりとする。

(1) 全体会 指導員全員

(2) 役員会 第5条第1項に定める役員

(3) 三役会 会長、副会長、事務局長

(専門部)

第10条 本協議会の活動を推進するため専門部を置き、指導員はそれぞれ、いずれかの専門部に属するものとする。

2 専門部は、文化活動部、野外活動部及びきずな編集部とする。

3 専門部の会議は、専門部長が召集し、専門部で必要な事項を定める。

(地区協議会)

第11条 本協議会の活動を円滑に推進するため、地区ごとに地区協議会を置く。

2 地区協議会の会議は、地区幹事が召集し、地区協議会で必要な事項を定める。

(規約の改廃)

第12条 この規約の改廃は、全体会において行う。

(会計)

第13条 本協議会の経費は、委託金、その他の収入をもって充てる。

2 本協議会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(その他)

第14条 この規約に定めるもののほか、本協議会の運営に必要な事項は、役員会が決定する。

附 則

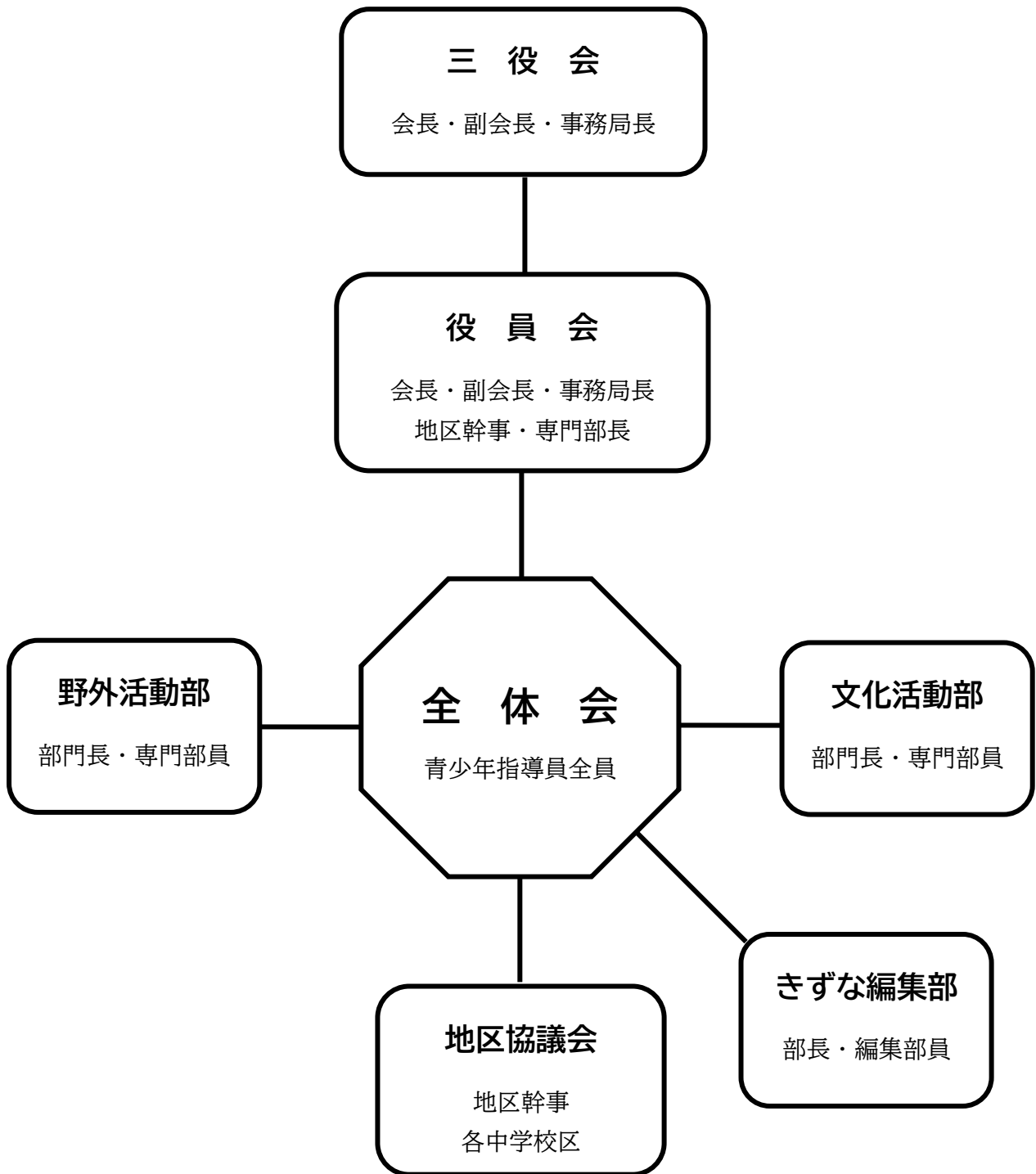
この規約は、平成5年4月1日から施行する。

この規約は、平成16年4月1日から施行する。

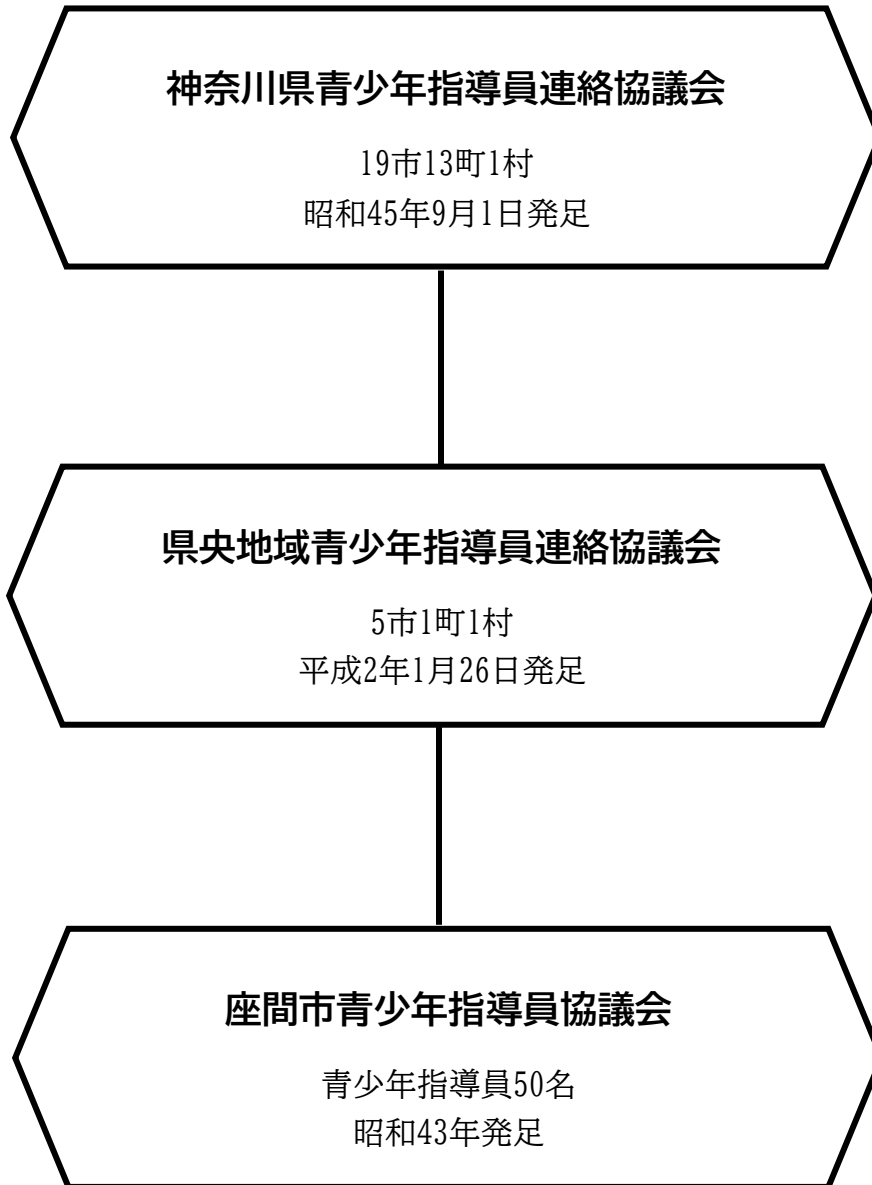
この規約は、平成28年4月1日から施行する。

この規約は、令和5年4月1日から施行する。

座間市青少年指導員協議会組織図



県・県央地区青少年指導員連絡協議会体系図



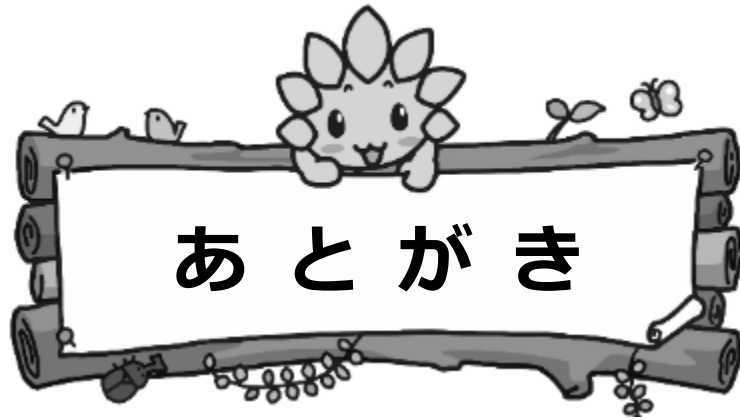
教育・文化・スポーツ施設一覧

★教育・文化施設

施設名	住所	電話番号
青少年センター	立野台 1-1-4	046(253)8411
ハーモニーホール座間(市民文化会館)	緑ヶ丘 1-1-2	046(255)1100
図書館	入谷東 1-3-1	046(255)1211
市公民館	入谷西 2-53-34	046(255)3131
北地区文化センター	相模が丘 5-30-4	042(747)3361
東地区文化センター	東原 3-1-1	046(253)0781
座間市民活動サポートセンター	緑ヶ丘 1-1-1(ふれあい会館内)	046(255)0201
立野台コミュニティセンター	立野台 3-14-12	046(255)0815
新田宿・四ツ谷コミュニティセンター	四ツ谷 1026	046(257)4871
小松原コミュニティセンター	小松原 1-45-14	046(257)9640
東原コミュニティセンター	東原 4-13-13	046(255)9770
相模が丘コミュニティセンター	相模が丘 3-38-1	046(258)3000
相武台コミュニティセンター	相武台 3-20-18	046(258)3001
ひばりが丘コミュニティセンター	ひばりが丘 1-49-1	046(257)7698
栗原コミュニティセンター	栗原中央 3-29-17	046(257)7210
プラっとざま(市民交流プラザ)	相模が丘 1-25-1 リビオタワー 小田急相模原コモンズざま 3 階	042(705)3610
県立座間谷戸山公園	入谷東 1-6-1	046(257)8388

★スポーツ施設

施設名	住所	電話番号
スカイアリーナ座間(市民体育館)	相武台 1-47-1	046(255)0077
座間市民球場 (有料)	相模が丘 6-36-24	046(255)3002
新田宿グラウンド(有料)	新田宿 2178	046(252)2333
相模川グラウンド(無料)	相模川座架依橋上流	
相模川多目的広場(無料)	相模川座架依橋上流	
栗原遊水池スポーツ広場(無料)	栗原 1702-3	
ニュースポーツ多目的広場(無料)	四ツ谷 1044-1	
ひまわり公園テニスコート (有料)	入谷東 1-6-3	046(256)1385
栗原遊水地テニスコート (無料)	栗原 1702-3	046(256)7021
座架依橋壁打ちテニス練習場(無料)	座間 1540(座架依橋下)	
栗原遊水地バスケットゴール (無料)	栗原 1702-3	046(256)7021
立野台プール	立野台 1-1-2	046(251)5672
座間公園プール	座間 1-3671	046(251)6678
広野プール	広野台 1-37-1	046(252)0077
東原プール	東原 3-3-14	046(251)5044
ひばりが丘プール	ひばりが丘 4-4-3	046(255)5087
相武台プール	相武台 4-2-13	046(255)5086
栗原プール	栗原中央 6-5-25	046(254)5351
相模が丘プール	相模が丘 2-1-9	046(256)2285
入谷プール	入谷西 5-43-1	046(256)2325
旭プール	ひばりが丘 5-28-5	046(256)5508
中原プール	西栗原 2-14-1	046(251)6027



- 〔石 田〕 今期初めて、きずな編集部の部長として2年間は過ぎようとしていますが、殆ど吉澤さんにおんぶにだっこ状態で、大変感謝しております。思へば、以前のきずな誌の写真の解像度が酷くて、中々被写体の判別が難しかったです。今期のきずな誌の印刷解像度が上がり大変見やすくなり満足しております。今後とも事務局職員の方々とスクラム組んで、より良い青少年教育環境等の充実の一助となるよう頑張りたいと思います。
- 〔有 山〕 初めて、きずなの編集部員となり不安がありました。部長の石田さんをはじめ、各地区の指導員皆様のご協力により無事に今期を終えることができました。「きずな」の編集部を担当し、青少年指導員の活動が学校関係者や地域の皆様に広報できたものと感じています。ありがとうございました。
- 〔明 石〕 何期目かのきずな担当ですが、毎回、子ども達の様子をどう文章で表現しようかと悩みます。それだけ子ども達の楽しい様子や笑顔は、私の語彙力では伝えられないほど素敵だからです。この2年間は、コロナ禍が落ち着き、通常に戻ってきたことで青少年フェスティバルや、ふるさと祭り、芸術祭等のイベントが通常どおりに出来たことが何よりも嬉しいです。この先も、子ども達の笑顔を守っていきたいです。

- 〔山 田〕 コロナ禍はほぼ収束したようにも感じられますが、まだまだ油断は禁物のようです。しかし各地でお祭りやイベントが復活し、こども達の明るく楽しんでいるようすを見聞きすることができたのはやはり嬉しいものです。また、指導員活動のメインであるフェスティバルや美術展について「きずな」を通して知ってもらうことの大切さを改めて感じました。これからも皆さんの目に留まるような「きずな」を目指しましょう。
- 〔吉 澤〕 きずな編集部として最後の2年間無事に完走することができました。民生委員と“二足のワラジ”を履いた石田編集部長お疲れさまでした。今後も「きずな」が読み物として面白くなるよう期待しております。
- 〔大 矢〕 コロナ禍が沈静化しても、まだまだ指導員の活動が思うように出来ず苦労した2年間でしたが、そんな中での会報発行と原稿作成にご協力いただきありがとうございました。



編集委員長 石田信一
編集委員 有山博幸 明石さゆり 山田映子
神永朋子 吉澤雅規 大矢弘



座間市ホームページ
内でPDFデータを
公開しています。

(<https://www.city.zama.kanagawa.jp/>)

令和4・5年度(第28期)
座間市青少年指導員活動のあゆみ

発行日 令和6年3月31日
発行 座間市
編集 座間市青少年指導員協議会
印刷 座間市

